

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	タケヤ化学工業本社ビル	階数	地上4階建
建設地	羽曳野市東阪田15番21、他13筆	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	55 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年10月 予定	評価の実施日	2015年12月22日
敷地面積	7,623 m ²	作成者	一級建築士委事務所フジハラアーキテクト
建築面積	2,925 m ²	確認日	2015年12月22日
延床面積	4,195 m ²	確認者	一級建築士委事務所フジハラアーキテクト 藤原 誠司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8

音環境	3.3
温熱環境	2.2
光・視環境	3.3
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	3.1
耐用性	2.9
対応性	3.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

水資源	2.2
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.7
地域環境	2.9
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	建物運用時のCO ₂ 排出量を抑えられるよう計画した。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	自然採光、自然換気を多く確保できるよう、居室に大きな開口部を設置した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に、中高木を多く含む緑化計画を行った。
LR1 エネルギー	断熱性能の高い外壁材を採用。空調では全熱交換器、照明にLEDを採用した。	LR3 敷地外環境 駐車場、駐輪場等適正に確保した。
Q2 サービス性能	事務所に、広さ、天井高等ゆとりある計画を行った。	
LR2 資源・マテリアル	グリーン購入法適合商品を多く採用し、外壁、床に躯体糸仕上げ材が容易に分別可能な配慮を行った。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0085

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	タケヤ化学工業 本社ビル					
	建設地	羽曳野市東阪田15番21 他13筆					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
省エネルギー対策		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価	3.0	4
		建物全体		
		住戸・宿泊		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2		
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				